

アクティにしお車座集会

## 墨だけで表現する芸術を体験

9月30日、アクティにしおで29年度第2回車座集会在開催されました。今回は、長年登録団体として活動する水墨画みやび会の皆さんによる「大人も子ども楽しく描ける、初めての水墨画体験♪」。子どもからお年寄りまで総勢21人が参加しました。参加者は水墨画独特の筆遣いなどに悪戦苦闘しながらも、講師をはじめ、みやび会の皆さんの丁寧な指導でグングン上達。自分の作品の出来栄に、満足そうな表情を浮かべていました。



一色地区コミュニティバス運行開始式

## いっちゃんバス、出発進行



一色地区内を循環する「いっちゃんバス」の運行が10月1日に始まり、始発に合わせて一色町公民館で運行開始式が開催されました。式では、青地にカーネーションやえびせんべい、大提灯などが白抜きでデザインされたバスをお披露目。愛称と車両デザインを考案した方への感謝状の贈呈やテープカットなども行われ、運行開始を祝いました。午前7時40分、いよいよバスが出発。記念すべき瞬間を見ようと駆け付けた地域の方たちが、笑顔で手を振って見送りました。

「西尾の抹茶」の日、にしお産業物産フェア

## 抹茶のキャンパスに絵を描こう

第26回「西尾の抹茶」の日と第7回にしお産業物産フェアが、10月7日・8日に文化会館で行われました。絶好の行楽日和となり、無料抹茶サービスや抹茶工場見学ツアーなどは朝から行列ができるほど大盛況。また、抹茶石臼挽きなどの各体験コーナーにも大人から子どもまで多くの方が訪れていました。中でも女の子に人気だったのが、抹茶アート体験。参加者は自分で絵を描いた抹茶に満足しつつ、「飲むのがもったいない」と少し残念そうな様子でした。



はじめての親子ふれあい将棋

## 出てこい、第2の藤井聡太四段



10月8日に、矢田ふれあいセンターで生涯学習講座「はじめての親子ふれあい将棋」(全5回)が開講され、小学校低学年の児童とその保護者5組11人が参加しました。初回となる今回は「将棋に触れてみよう」をテーマに行われ、将棋のルールや駒の動かし方を遊び感覚で学びました。後半になり、遊び方が分かってきた子どもたちは、早速家族を相手に対局開始。次の一手をどうするのか真剣な表情で考え、楽しみながら将棋の面白さを感じていました。



西尾を歩こう！ ウォーキング～吉良コース～  
**秋** 晴れの吉良を巡る

9月21日に「西尾を歩こう！ ウォーキング～吉良コース～」が行われました。少し汗ばむ陽気の中、約70人の参加者は集合場所のスギ薬局吉良店を出発。休憩をはさみながら約1時間30分かけて、羽利神社周辺を巡る約4kmのコースを健康づくり推進委員と歩きました。途中立ち寄った教蓮寺では、市天然記念物で推定樹齢500年のイヌマキなどを見学。ウォーキングはもちろん、吉良の歴史も楽しんでいました。



郷土料理を学ぼう！ 地産地消で箱ずしづくり  
**新** 鮮・安全・おいしい西尾産



9月29日に、吉良町公民館で「郷土料理を学ぼう！ 地産地消で箱ずしづくり」が行われました。6つのグループに分かれた参加者は、箱ずしをはじめ冬瓜サラダ、すいとんなどを調理しました。食材に使われた米や冬瓜、梨などは、講師を務めた西尾市生活改善実行グループの方が生産したもの。和気あいあいと作業を進め、色鮮やかな箱ずしを作りました。出来上がった料理を試食し、「食材がすごくおいしかった」と、講師に直接伝えている人もいました。

市民体育大会バレーボール競技  
**ひ** と夏越えて、コートで躍動

第63回市民体育大会バレーボール競技の中学生男子の部が10月7日、中央体育館で行われました。3年生が引退し、新チームとなって2回目の市内の大会。どの選手も夏に成長した姿をプレーで魅せるなど、エキサイティングな試合が展開され、アタックやブロックが決まるたびに、ベンチや観客席から大きな歓声が上がっていました。見事優勝を飾ったのは男子が一色中、女子が西尾中、2位は男子が平坂中、女子が鶴城中でした。



夜空と交差する森の映画祭2017  
**満** 天の星空の下、野外映画を楽しむ



10月7日夜から8日早朝にかけて、佐久島で「夜空と交差する森の映画祭2017」が行われました。埼玉県秩父市と山梨県北杜市に次ぐ4回目、離島では初の開催。島内の3会場に大型スクリーンが設けられ、「しゅわしゅわ」をテーマに計37本の映画が上映されました。県外が58%、女性が72%、20代が85%という約1,500人の参加者は、海岸線に仕掛けられたデジタルアートを楽しみながら会場間を移動。星空と潮騒に包まれ、目当ての映画をのんびりと鑑賞していました。